

# ガバナー一月信 vol.03



Rotary   

## ガバナー講話

2020-21年度  
国際ロータリー第2560地区  
ガバナー 佐藤 真




ロータリーで良いことをしよう

- ガバナーメッセージ 1
- クラブ会長懇談会 開催報告 2
- 奨学生候補者オリエンテーション報告 3
- 高田さくらロータリー衛星クラブ 4
- 2020-21年度米山奨学制度説明会 5
- 新潟東RCの新しい取り組み 6
- 新入会員紹介・訃報 7
- 会員数及び出席報告 8
- コーディネーターNEWS 9-10
- ハイライトよねやま 11





## 残暑お見舞い申し上げます

国際ロータリー第2560地区

2020-21年度

ガバナー 佐藤 真（村上岩船）

暑い日が続き、熱中症のみならずCOVID-19対策も合わせ、今年は留意することが多く、皆さん  
非凡な日をお過ごしのこととご推察致します。

さて、8月22日に念願のクラブ会長懇談会をオンラインにて開催することができました。当初オー  
クラホテル新潟で三密回避の設営により計画しましたが、開催前日に新潟市でCOVID-19新規感  
染者が8名確認され、急遽中止とさせていただきます。私としては苦渋の決断でしたが、皆さんの  
安全を守るべきガバナーとしては当然の判断と思います。

クラブ会長懇談会の年度初期開催をPETSや地区研修・協議会をDVDと紙資料による自主研修  
へと変更した頃から待ち望んでいましたが、ようやくクラブ会長の皆さんとお会いすることが叶い、  
喜びとともに、2020-21年度のスタートを改めて感じる事ができた思いです。懇談会は、ガバナー  
補佐各位にご挨拶いただいた後、約30分私の講話に続き質疑応答と、1時間の短いものでしたが、  
良い時間を過ごさせていただき改めて感謝申し上げます。私の講話の内容は、年度当初の諸連  
絡とお願い、そして「ガバナーへの道」と題して、ガバナー輪番制に基づく第一分区のガバナー輩  
出秘話や私の今思っていること、そしてガバナー輪番制での決議内容と必要性について述べさせ  
ていただきました。内容については各クラブ会長の皆さまから例会時にお伝えいただければと思っ  
ています。

また、この日はRLI推進委員会主催の第1回DL(ディスカッションリーダー)オリエンテーションが  
開催されました。快くお引き受け頂きました8名の皆さまには深く感謝申し上げますとともに、当地区  
のRLI構築に向けたご協力をお願い致します。また新たに一緒に活動をしていただけるロータリア  
ンの方も歓迎しますので、ガバナー事務所までご連絡ください。

この日は内容が盛沢山でありまして、第1回地区運営改善検討委員会も開催されました。PG鈴  
木重彦委員長のもと2020-21年度の活動指針が示され、地区の抱える諸問題に取り組む準備が  
整いました。

COVID-19禍でいろいろと活動制限はありますが、今できることを考え行動する年度として捉え、  
「良い奉仕活動」に繋げてまいりたいと考えておりますので、皆さまの変わらぬご支援をお願い申し  
上げます。



## クラブ会長懇談会 開催報告

国際ロータリー第2560地区

2020-21年度

地区幹事 渡邊明紀（新発田）

さる8月22日にオンラインでクラブ会長懇談会を開催致しました。PETS、地区研修・協議会が映像資料による自主研修となり、佐藤年度が始まりつつもガバナーと面識のないクラブ会長さんと親交を図るため、8月1日に直接対話形式で会長懇談会を企画しました。しかし開催予定前日に、新潟市内で8名の陽性反応者が確認されたため、急遽中止させて頂き、その代替としてオンライン開催したものです。

当日は佐藤ガバナーから「クラブ会長の皆様と画面越しとはいえ直接お話がしたかった」との挨拶で始まり、当地区の現状、COVID-19対応、災害支援、ガバナーレターなど諸事連絡がありました。その後、ご自身がガバナーに選出された経緯を「ガバナーへの道」と題してお話頂きました。ガバナー選出が困難な当地区の近年の実情を踏まえ、田中年度、川瀬年度での会長会で決議された分区輪番制を改めて説明頂きました。ガバナー選出はクラブからの推薦を優先しますが、推薦に乏しく、分区輪番制を準用し、8年間の間に第二分区は2回、他の分区は1回ガバナーを輩出するという決議事項を説明されました。

そして分区輪番制の皮切りである第一分区として、制度を固守するためにどれほどの協議を重ね、どれほど大勢の方が関り、またご自身が分区で推薦を受けても、家庭・会社・自クラブ・他団体活動などに支障はないのか、同意を得られるのかなど大変な苦悩を赤裸々にお話下さいました。諸先輩方が為し得てくださった“地区事務所固定化”もガバナー受諾の大きな要因だったそうです。

付け加え、佐藤年度がスタートした現在、ガバナー就任に後悔は全く無く、大勢の皆様から頂いた御協力への感謝を改めて述べられ、「ガバナーを輩出しやすい地区・分区づくり」への協力を依頼し講話を締め括られました。

また当地区では、総勢65名の大規模なオンライン会議を実現できた事は設営側としても嬉しい成果でした。これにより非常時においても、迅速に最高決議機関である会長会をオンライン開催できる指標となりました。

年度初頭より、ガバナー公式訪問を重ねておりますが、訪問クラブの皆さまからは概ね好評の感想をいただき、嬉しく感じております。関わって下さった皆様に改めて感謝を申し上げます。



## 奨学生候補者オリエンテーション報告

国際ロータリー第2560地区

ロータリー財団委員会

奨学金・VTT委員会

委員長 村上 揚市郎（長岡西）

7月18日（土）、万代シルバーホテルにて2020-21年度派遣グローバル奨学生候補者オリエンテーションとして、大平拓実さん（推薦RC雪国魚沼）梅澤光里さん（推薦RC高田）と各スポンサークラブの会長、カウンセラーの皆様から参加していただき開催されました。

冒頭は佐藤ガバナー、新保ロータリー財団委員長から、奨学生に対しての励ましの言葉やロータリーが奨学金を支給する意味などを交えてご挨拶いただき、その後、各奨学生候補者から自己紹介をしていただきました。

オリエンテーションでは、奨学生の責務や意義、注意事項や心得、事前に準備しておくことやスポンサークラブカウンセラーの役割などの説明を行い、質疑応答の後、各スポンサークラブの方々より奨学生への激励をしていただきました。

最後に、奨学金の受託に関する同意書に署名していただき、ロータリー財団委員長から奨学生のバッチを授与し閉会となりました。

グローバル奨学生は地区奨学生と違い、6つの重点分野のいずれかに該当し、留学先教育機関も大学院レベルであることなど、非常に高い選考基準があります。

この非常に高い基準をクリアした2人の候補者が、今後世界で活躍する人になれるよう、皆様からも応援を宜しくお願い致します。



## 新しい可能性 高田さくらロータリー衛星クラブ

高田ロータリークラブ

会長 大島 誠

昨年度、高田クラブから輩出させていただいた大谷パストガバナーの肝入りで「衛星クラブを立ち上げる」ことになり、その担当として私が指名を受けました。そもそも「衛星クラブ」という言葉を初めて聞きましたし、2560地区でも初めての事なので、どなたに聞いても仔細が良く分からず、とにかく手探りで準備を始めました。

RI等の資料を読みますと、本来「衛星クラブ」は「やがて独立したロータリークラブとなるための準備クラブ」の様なのです。しかし「いつまでに」とか「必ず」とかの表現が無く、極めて縛りが弱い印象を受けました。そこで私は勝手に「衛星クラブはスポンサーである親クラブに入会する前の予備クラブである」と位置づけ、スポンサークラブである高田クラブの将来の会員拡大につながればと考えました。

衛星クラブの会員はスポンサークラブの会員にカウントされますが、クラブ名は独立名称が必要で、例会は独自に開催し、会費の設定は自由です。そこで、設立する衛星クラブを次のように規定しました。

名称：高田さくらロータリー衛星クラブ

例会：月に2回(当面は2回のうち1回は親会と合同とする)

会費：年会費を6万円とする(親会の年会費は概ね30万円)

大谷パストガバナーの肝入りでもあり、高田クラブの皆さんに趣旨をお話しし、会員獲得の協力を要請したところ、非常に興味深い結果となりました。

- ・現会員のご子息、ご息女の入会(親子で入会) 4名
- ・血縁者ではなくとも将来会員企業の後継者となる方の入会 3名
- ・地元企業の若手の入会 6名
- ・女性の入会 4名(うち2名は会員のご息女)



2020年の1月に正式に設立されましたが、新型コロナの影響で衛星クラブとしての活動はこれからです。しかし、例会へのオンライン参加など、メンバーの若返りだけでなく親会の開催の方法にも新鮮な風が吹き始めています。ロータリーの新しい可能性を感じています。

## 2020－21年度米山奨学制度説明会

米山記念奨学委員会  
奨学生選考委員会委員  
小林 達（新潟北）

米山奨学制度説明会を8月6日ホテルオークラ新潟に於いて開催しました。説明会には県内15の大学・高専から担当者の方に出席いただきました。飛沫スクリーンを施した演台から米山記念奨学委員会の吉村委員長が、冒頭このコロナ禍ご参加をいただいた関係者の皆様に対して謝辞を述べ「2021学年度の奨学生の全国での採用人数は890人、当地区は、新規21名、継続4名、合計25人の採用予定となっています。・・・本年度もたくさん応募されることを願っています。」と挨拶がありました。その後、米山事業の紹介、米山奨学生選考について説明をしました。

この奨学事業はロータリーが目指す国際理解と親善、世界平和に寄与する事業であること。日本全国のロータリークラブ会員の寄付が財源であり、事業規模は国内民間の留学生奨学団体で最大であること。さらに世話クラブ・カウンセラー制度を特長としており、奨学生には、ロータリークラブを通じて日本の文化、習慣に触れる交流を通じて国際親善・奉仕の精神を学び、将来は日本と母国・世界を結ぶ「懸け橋」になることが期待されていることを説明いたしました。

続いて、奨学生選考委員会の渡邊委員長より応募の流れ、米山奨学生の義務そして応募者ご推薦の留意点等々の説明がありました。奨学生は毎月1回以上の世話クラブ例会に出席すること。選考基準はロータリー活動に関心を示し、積極的に協力する学生であり、その人柄やコミュニケーション能力が大事であり、経済状況や学業成績が優先基準ではないこと。奨学期間終了後は元奨学生の同窓会組織である米山学友会の学友となることを説明しました。

このように2021学年度の米山記念奨学生募集が始まりました。会員の皆様には、今後ともロータリー米山記念奨学へのご理解とご協力をお願い申し上げます。



当クラブ の新しい取り組み

## ★人材育成に、新しい風を吹かせて★

新潟東ロータリークラブ

広報委員長 孫 犁冰

新潟東RCは6月28日に、株式会社ナレッジライフの住宅展示場にて、2019-20年度4回目の新風会を行いました。青空の下で涼しい風に吹かれ、会員企業の社員8名、大学生1名、ロータリアン11名は、当クラブ新風会委員長の中村勝治君の講演に耳を傾けました。度重なる失敗を乗り越えて、SDGS経営を取り組みながら、「人、まち、地球にやさしい家」をつくっている住宅業界のパイオニアの物語は、とても説得力があり、聴く者は大いに勇気づけられました。

新風会とは、2019-20年度当クラブ安藤幸夫会長の下で復活させた人材育成プロジェクトで、次世代のリーダー育成を主な目的としており、対象者は就職活動中の大学生、前向きで発展途上の社員、将来のロータリアン候補となります。年度内には、野沢慎吾君(セコム上信越株式会社社長、新潟東RC)、小田敏三氏(新潟日報社代表取締役社長、新潟南RC)、山本善政氏(株式会社ハードオフコーポレーション代表取締役会長)、中村勝治君が講師を務め、計4回の講演会を開催し、延べ90名が参加しました。講演の後には、講師を囲む懇親会の席を設けて、参加者と講師、参加者同士の交流を促し、親睦を図りました。

とりわけ、当クラブは、新風会を会員増強の場として、フルに活用しております。会員増強委員長の保莉玲子君は、会員によって推薦された将来のロータリアン候補を、新風会にお招きして、ロータリー活動の意義を体得して頂くことによって、入会を促しています。2019-20年度において、新潟東RCが迎え入れた新入会員は15名で、うち3名の入会を決意したきっかけは、新風会の講演会でした。

コロナ禍によって、生活様式が大きく様変わりしたからこそ、対面式のリアルな学び・交流・親睦の大切さをかみしめます。新潟東RCは、2020-21年度において、新風会をより一層盛り上げて、多くの若者やロータリアン候補に機会の扉を開いていきます。



講演中の中村勝治君



会場の設え



感想を共有する参加者の皆さん

## 地区主要行事予定9月-10月

		行 事		会 場
基本的教育と識字率向上月間				
9月	5	(土)	地区諮問委員会／高尾ガバナーエレクト事務所開所式	ホテルオークラ新潟
	6	(日)	アクトの日	オンライン会議
	13	(日)	第1分区IM (佐藤G補佐・村上)	瀬波温泉 大観荘せなみの湯
	13	<del>(日)</del>	<del>第3分区IM (野崎G補佐・村松)</del> →延期	割烹一松の家
	14~15	(月~火)	ガバナーエレクト研修セミナー (GETS)	オンライン会議
	16	(水)	2021-2022年度地区研修リーダーのためのセミナー(DTS)	DVD研修
	26	<del>(土)</del>	<del>糸魚川RC創立60周年記念式典</del> →来年3月25日に延期	ホテル國富アネックス
	27	<del>(日)</del>	<del>新潟ローターアクトクラブ50周年記念式典</del> →中止(記念誌発行のみ)	
	27	(日)	第6分区IM (高橋G補佐・津南RC)	グリーンピア津南
経済と地域社会の発展月間・米山月間				
10月	3	<del>(土)</del>	<del>加茂RC創立60周年記念式典</del> →来年5月8日に延期	清雲亭山重
	3	(土)	第2分区IM (宇尾野G補佐・新潟RC)	ホテルイタリア軒
	3	(土)	青少年交換委員会会議	長岡
	5~6	(火)	佐藤年度 地区大会記念親睦ゴルフ大会	日本海カントリークラブ
	10	(土)	第1回米山記念奨学委員長セミナー	ホテルイタリア軒
	17~18	<del>(土~日)</del>	<del>ライラ研修</del> →中止	
	24~25	<del>(土~日)</del>	<del>佐藤年度地区大会</del> →来年4月18日に延期	新発田市カルチャーセンター

## 新入会員紹介 (敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	役職	職業分類
十日町	高橋 正也	2020.7.2	(税)杵淵会計事務所十日町事務所	十日町事務所所長	税理士・会計士
十日町	長谷川 吉徳	2020.7.2	㈱長谷川砂利	代表取締役社長	建設資材販売
水原	百都 順也	2020.7.3	㈱柴田屋商店	取締役	燃料販売業
柏崎中央	永井 裕子	2020.7.7	永井コンクリート工業(株)	総務部	コンクリート製造
村上	小田 健司	2020.7.16	小田健司税理士事務所	代表	税理士
直江津	田中 敏博	2020.8.1	国際石油開発帝石(株)国内エネルギー事業本部	直江津LNG基地 所長	石油鉱業
長岡東	廣川 雅己	2020.8.5	岡三にいがた証券(株)	取締役	証券業

## 訃報 (敬称略)

RC	氏名	逝去日	会社名	役職	職業分類	経歴・その他
長岡西	中川 雅史	2020.7.28	中川酒造(株)	代表取締役社長	日本酒製造	
糸魚川	池原 義一	2020.7.30	㈱池原印刷所	会長	印刷製版	第37代会長、マルチプルフェロー1

## 第2560地区 2020-21年度7月末 会員数およびMy Rotaryアカウント登録率

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会員数			
			2020年 7月1日	7月末 会員数	うち女性	増減
第1分區(9クラブ)	／	-	387	389	38	2
新発田	4	24.2%	95	95	0	0
村上	4	17.1%	40	41	10	1
水原	4	22.6%	30	31	1	1
中条	4	90.7%	43	43	4	0
新発田城南	4	16.3%	44	43	4	-1
豊栄	3	17.4%	23	23	3	0
新発田中央	5	4.3%	45	46	4	1
中条胎内	4	56.8%	36	36	6	0
村上岩船	4	22.6%	31	31	6	0
第2分區(9クラブ)	／	-	435	444	28	9
新潟	4	19.6%	88	92	2	4
新潟東	4	14.3%	63	63	9	0
新潟南	5	34.0%	98	103	3	5
佐渡	3	100.0%	6	6	0	0
新潟西	4	52.6%	38	38	2	0
佐渡南	2	12.5%	40	40	5	0
新潟北	4	30.8%	39	39	0	0
新潟中央	4	45.0%	20	20	0	0
新潟万代	4	51.2%	43	43	7	0
第3分區(6クラブ)	／	-	103	103	4	0
新津	4	11.8%	17	17	0	0
村松	4	66.7%	12	12	0	0
五泉	2	0.0%	12	12	1	0
白根	4	30.0%	30	30	1	0
新津中央	4	34.6%	26	26	2	0
阿賀野川ライン	3	0.0%	6	6	0	0
第4分區(11クラブ)	／	-	372	371	28	-1
三条	5	10.0%	60	60	0	0
燕	4	5.6%	36	36	3	0
加茂	4	10.0%	30	30	5	0
三条南	3	13.3%	45	45	2	0
分水	4	80.0%	30	30	4	0
見附	4	9.1%	22	22	1	0
吉田	3	7.7%	26	26	3	0
三条北	4	0.0%	60	59	3	-1
巻	3	0.0%	23	23	2	0
田上あじさい	4	14.3%	7	7	1	0
三条東	4	6.1%	33	33	4	0

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会員数			
			2020年 7月1日	7月末 会員数	うち女性	増減
第5分區(7クラブ)	／	-	306	308	26	2
長岡	4	88.0%	49	50	4	1
柏崎	3	2.4%	42	42	0	0
長岡東	3	25.9%	57	58	3	1
柏崎東	3	17.8%	46	45	3	-1
栃尾	4	12.5%	24	24	0	0
長岡西	4	19.2%	52	52	5	0
柏崎中央	2	24.3%	36	37	11	1
第6分區(6クラブ)	／	-	130	133	11	3
十日町	3	20.7%	29	31	3	2
小千谷	4	10.7%	27	28	2	1
雪国魚沼	5	16.7%	24	24	3	0
十日町北	3	4.8%	21	21	2	0
津南	4	17.4%	23	23	1	0
越後魚沼	4	16.7%	6	6	0	0
第7分區(8クラブ)	／	-	338	336	24	-2
高田	4	29.5%	76	76	5	0
直江津	3	38.0%	71	70	7	-1
新井	4	3.1%	32	32	1	0
糸魚川	2	92.7%	41	40	2	-1
高田東	4	69.4%	36	36	2	0
糸魚川中央	3	51.5%	33	33	0	0
頸北	3	18.2%	11	11	1	0
越後春日山	4	100.0%	38	38	6	0

クラブ数	56 クラブ
7月1日 会員数	2,071 人
7月末 会員数	2,084 人
女性会員数	159 人
純増減会員数	13 人
My Rotaryアカウント登録率	29.2 %

※4月末からの訂正

## 4月末日会員数

雪国魚沼RC(25名⇒24名)

糸魚川中央RC(35名⇒34名) 2560地区合計(2,128名⇒2,126名)

## 5月末日会員数

糸魚川中央RC(35名⇒34名) 2560地区合計(2,129名⇒2,128名)

## 6月末日会員数

糸魚川中央RC(34名⇒33名) 2560地区合計(2,070名⇒2,069名)

## オンライン例会、ハイブリッド例会を開催しませんか

新型コロナウイルス（以下「コロナ」）の感染拡大が止まりません。感染者の確認は全都道府県に及び、大都市圏では毎日のように「過去最大の感染者数を記録」と報道されています。そのような中、しばらく例会を休止していたロータリークラブも、6月の緊急事態宣言の解除を受けて、ほとんどのクラブが例会を再開したようですが、どのような形で再開されたのでしょうか。

国際ロータリーは、コロナによるパンデミックを受けて、地区およびロータリークラブとローターアクトクラブが、会合やイベントをオンラインで行うか、中止または延期とすることを推奨しました。そこで、多くの地区やクラブが予定されていた会合のいくつかをオンラインで開催しました。それらの経験を通じ、今やオンラインによる会合の開催は、「特別なこと」ではなく、「選択肢の一つ」になりつつあるように思います。しかしその目的は情報の伝達や意見交換程度にとどまり、クラブが例会そのものをオンライン形式で開催したという例はまだまだ少ないようです。

私の個人的な経験ですが、関係しているいくつかの団体のうち、理事会などをオンラインで開催したところもあれば、机の配置などを工夫してあくまでも対面式の会合にこだわったところと様々でした。これはどうやらそれぞれの法人の監督官庁の指導によるものと推測されます。今、公益法人では、「出席者間の協議と意見交換が自由にでき、相手方の反応がよく分かるようになっている場合、すなわち、各出席者の音声や映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできる仕組みになっており、出席者が一堂に会するのと同等の相互に十分な議論が行うことができるという環境」であれば理事会等をWEB会議などのオンライン形式で開催してもよいという考え方が一般的なようです。

この「出席者間の協議と意見交換が自由にでき、相手方の反応がよく分かるようになっている」という考え方は、ロータリークラブの例会にも当てはまりませんか。互いの映像を見ながら、画面を通して直接会話することができれば、顔と顔を合わせての会合に劣らない交流を図ることができるのではないのでしょうか。

標準ロータリークラブ定款第7条（会合）第1節（例会）(b)には「会合の方法。例会は、直接顔を合わせるか、電話で、オンラインで、またはオンラインの参加型の活動を通じて開催することができる。」と規定されています。クラブ細則でオンライン例会を明示的に禁止していない限り、どのクラブでも理事会の決定で次週の例会からオンライン形式を採用することは可能であるはずですが、これまでの慣習を重んじて対面式にこだわっているクラブが多いように見えます。全員がオンラインで出席するのは寂しいと思われるなら、対面式とオンライン形式を併用した「ハイブリッド例会」はどうでしょうか。実際に出席した会員と、オンラインで出席した会員が画面を通して会話をしたり、一緒に卓話を聞いたりすることができる例会です。それでもまだ会員の中に抵抗があるようでしたら、クラブ細則で、会員がオンラインで例会に出席する回数に上限を設けるのも一案でしょう。

コロナによる影響をマイナスばかりではなくプラスに転じるように、オンライン例会に挑戦し、あなたのクラブの活性化のきっかけにしましょう。

第3地域 ロータリーコーディネーター補佐 滝澤 功治（神戸須磨RC）

## ご挨拶

本年度より第3地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐を拝命致しました第2670地区（新居浜ロータリークラブ）の桑原征一と申します。浅学非才の身ではありますが、関係各位の皆様方のご指導を頂きながら、与えられた責務を全うしていきたいと思っておりますので、どうかよろしくお願いいたします。

さて、まずは昨年度の地区ガバナー、各委員長、又、各クラブの会長、幹事、委員長他、全ての皆様方に感謝申し上げます。一年間本当にご苦労様でした。新型コロナの感染拡大の中、皆様方が計画された多くの活動が中止や延期となった事と思っております。多くの人の想いを込めた事業を中止せざるをえなかった無念と失望は如何ばかりかと、拝察いたします。皆様方のロータリーに対する情熱や想いは事業が中止されたからといって、けっして消えるものではありません。この体験を次の方々に引き継いで、更に活発なロータリー活動につながるよう、ご尽力をお願い申し上げます。

また、本年度の地区、クラブの役員の皆様方、日本全国、コロナの大きな影響を受けている大変な時期に地区ならびにクラブの運営を担当される事、誠に苦労様でございます。地区協議会やその他の会合を開催出来なかった地区もあるかと思います。自らの想い、情熱を直接肉声で届けることが出来ず、手探りで、地区または、クラブの運営に当たらざるを得ないもどかしさを感じられていることと思っております。

残念ながら、現在の状況は我々が、対応策を講じなければなりません。今の時期こそ、地区役員、クラブ役員の英知を結集しなければならない時期だと思っております。コロナは何時終息するかわかりません。今この状況のなかでのロータリーの活動の在り方を見直してみたいかたがたでしょうか。ピンチを变革のチャンスと捉え、あらゆる方策を模索してみたいと思っております。新しいタイプのロータリー活動が生まれてくるかも知れません。考えてみるとワクワクしませんか。クラブ運営や地区運営にWEBを活用することで、地域社会との連携に大きな効果が出るのではないのでしょうか。

ロータリー活動の基本は毎週一回の例会出席にあり、例会での会員同士の親睦が奉仕活動の活力の源泉であると信じております。ただ、それがかなわない時には、別の方策を考えなければなりません。どうか、各地区、各クラブの皆様方には、色々な方策をそれぞれ、検討していただきたいと思っております。それが次の時代のロータリー活動の大きな力の源になると思っております。

今こそ、ロータリーの真の力を発揮する時です。みんなで一緒に頑張りましょう。

第3地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 桑原 征一（新居浜RC）



## 寄付金速報

## 年度

2020-21年度の寄付金は2億2,600万円、前年度と比べ約460万円の減少（普通寄付金:4.1%減、特別寄付金:3.5%増）となりました。前年との比較では減少となったものの、7月単月の寄付額を直近10年間の平均と比較すると、特別寄付金は最高額、普通寄付金でも550万

円ほど多い結果となっています。新型コロナウイルス感染症が再拡大する中であるにもかかわらず、皆様の今までと変わらぬご支援に心より厚く御礼申し上げます。

今年度も引き続きご支援賜りますよう宜しくお願いいたします。

## カンボジアの子どもたちに読書習慣を

第2750地区（東京都）米山学友会では今年2月、カンボジアの子どもたちに本を読む習慣を身に付けてほしいと、ミニ図書館や文房具、また、サッカーボールなどスポーツ用品を小学校へ寄贈する奉仕活動を行いました。



寄贈された本を夢中になって読む子どもたち

首都プノンペンから車で1時間ほど離れた村にあるSdau Kanlaeng小学校。70年以上の歴史があり、幼稚園生から小学校6年生までの約900人が通っています。校舎が老朽化し、子どもたちは午前と午後の2部交替制で学ぶことを余儀なくされています。

2月14日、学友会を代表してカンボジアに向かった陳 瑤直前会長

（2012-14/四日市東RC）は、「コロナのため寄贈式の延期も考えたが、子どもたちの期待にどうしても応えなかった。暗いニュースが多いなか、少しでも心が温まる報告ができて嬉しい。

ロータリアンや学友会の皆さんへ子どもたちの笑顔を届けたい」と、語ってくださいました。

なお、同学友会では同月、中国湖北省の総合病院へ防護服100着と医療用マスク1,000枚のほか、義援金を届ける活動もしています。

## 学年度奨学生の募集開始

来年4月採用の新規奨学生募集が始まりました。各地区の米山記念奨学委員会が選定し、当会選考・学務委員会と常務理事会の承認を経た指定校は、全国で576校（前年度558校）。指定校からの被推薦者数は1,894人（同1,821人）で、この中から新規奨学生約630人が選ばれます。今回、初指校は10校。また、5地区が例会に通える範囲の地区外の大学を指定。大学・大学院以外を対象とする地区奨励奨学金は、13地

区（同15地区）32校（同33校）となりました。各地区委員会では毎年、大学説明会や担当者との懇談を行い、事業の目的に合う多様な人材を採用しようと努力しています。当会からは8月7日に、全指定校に宛ててメールで通知しました。指定校からの応募締切は例年通り、10月15日となります。

※指定校一覧、募集要項・申込書式は、当会ホームページにて公開しています。